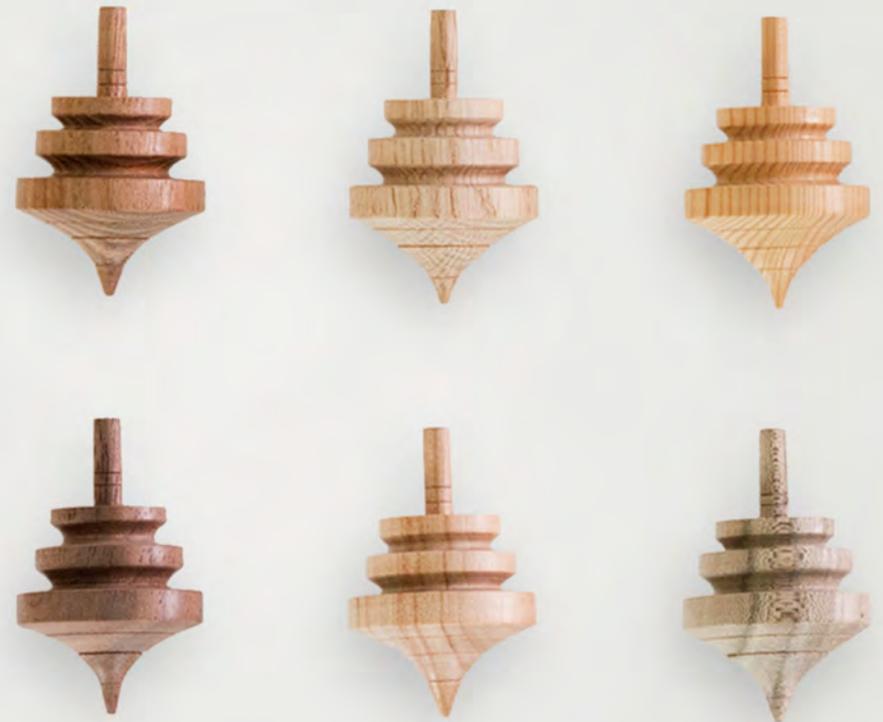


DESIGNPHIL

NEWS LETTER

2015 VOL.23

文具製造業から文化創造業へ



NEWS LETTER

2015 VOL.23

文具製造業から文化創造業へ

DESIGNPHIL NEWS LETTER

デザインフィル ニュースレター 第23号

発行日 | 2015年1月30日

企画・編集 | クリエイティブセンター マーケティンググループ

www.designphil.co.jp

株式会社デザインフィル

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-19-19 恵比寿ビジネスタワー9F

TEL 03-5789-8058 FAX 03-5789-8470

PRESIDENT MESSAGE

文具製造業から 文化創造業へ



代表取締役社長
会田 一郎

デザインフィルはデザインで人のコミュニケーションと生活を豊かにすることを目指す会社です。それを前提として、「私たちの目指すところ」への道筋=戦略を常に探求しています。

21号でお知らせしましたが、昨年からはじめたクリエイター John Jay 氏とのプロジェクトの大きな目的の一つがこの「私たちの行き先」への道筋を言語化して行動の指針を作ることでした。その結果は以下の Statement です。

私たちは「創意に富んだ、モノと経験の提供を通じて文化を創造する

上記 Statement の意味するところは、私たちの造る製品にそれを使う「経験」を融合して文化を創造する会社でありたいという思いです。製品単体の発想はモノづくりの原点でもあります。現代の特に嗜好品の世界では、モノの持つ意味や背景といったソフト要素がより強く求められています。今日、製造業のみならず小売や卸業にもそうした要素が求められるようになってきています。

モノに経験を融合するということは、ブランドや世界観をどう体现するかを製品と一緒に伝えてゆくことです。これまでになかった製品であればなおさら、こうした情報を届けてゆくことが大切です。

製品を陳列しておけば売れるという状態はある意味理想ではありますが、新しい提案を常とする私たちの製品では通用しません。モノのストーリーや世界観、どのように使って楽しむか、といった立体的なコミュニケーションがないとモノそのものは良くても売れないという状況に陥りやすいのです。また、この経験は開発時に作り手側が提供できるとは限らず、往々にして生活者に教えていただくことになるのです。

今回私たちが立ち上げた二つの事業部は、文化を発信する「文化創造業」の実現を目指してのものです。一つはすでにお馴染みの「トラベラーズノート」で、世界観を発信する旗艦店として「トラベラーズファクトリー」を2店舗展開しています。周辺商材(トラベラーズノートと仲間たち)の充実とともに事業部として独立させて、さらにブランドを際立たせていく段階であるという判断によるものです。

もう一つは「TOUCH & FLOW (タッチアンドフロー)」。全く新しい小売業態で、コンセプトは「Cultural General Store」～文化的な世界と人々をつなぐよろず屋～大人感性の道具たちの店というものです。ステーションナリーとその周辺に存在する魅力的なツール(道具)こそが日常を豊かにするものと捉え直して提案するお店です。

これらの試みは店という提案空間が生み出す世界観を共感した生活者に選んでいただくことに主眼を置いています。店の運営から得られる販売体験やお客様との接点を新しい製品と提案を生み出す起点とし、さらなる進化につなげていきたいと考えています。製品と経験を組み合わせ、文化創造につなげること。それが私たちの目指すところなのです。



コンセプトは、“Cultural General Store”
～文化的な世界と人々をつなぐよろず屋～

大人感性のステーショナリーショップ
「タッチアンドフロー」オープン！

2014年12月12日(金)、新しい小売事業として
「TOUCH & FLOW (タッチアンドフロー)」が
湘南 T-SITE 内にオープンしました。

1950年の創設より、創造の原点として大切にしている「デザインと紙」をテーマに、人々のコミュニケーションを豊かにする紙製品の開発および手書き文化を推奨してまいりました。

文具製造業として、「ステーショナリーこそが日常を豊かにする文化創造のための道具」であることを改めて捉え直し、ステーショナリーを通じて新たな発見や価値を見出せる場として、大人感性のステーショナリーショップ「タッチアンドフロー」をオープンしました。

出店場所である「湘南 T-SITE」は、ライフスタイル提案に満ちた本を集めた「湘南 蔦屋書店」と30の個性豊かなショップが繋がる文化複合施設です。歴史的にも独自文化の香り漂うこの地で、日々の暮らしに幸せをもたらすようなステーショナリーを展開してまいります。

タッチアンドフロー事業部長
豊田栄一

SHOP NAME

「TOUCH = 何かに触れたり見たり聞いたりして心が動く」、
「FLOW = インクの流れ、ペン先の軌跡、そこから何かが生まれる」
を意味しています。「少しでも心が動いたら、思うままに何かを書いてみよう。何か新しいことを始めてみよう」そんな“創造性への入口”となるような場所でありたいという想いを込めました。

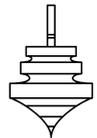
LOGO MARK

紀元前1500年頃から人々を楽しませてきたコマは、今でも世界中の子どもの遊び道具であると同時に、先端技術であるジャイロスコープ理論のもとになっています。歴史の中に常に存在してきたコマは、過去と未来をつなぐ象徴です。私たちのステーショナリーも、人々を楽しませながら、遠い未来の豊かな暮らしまでも助ける存在でありたい、そのような願いを重ねました。

「発見」が見つかる場所

店内中央には、たくさんの引出しがある5mのカウンター仕器が設置されています。デジタル全盛の時代に、わざわざ自分で足を運び、五感で感じ、対話を楽しみ、引出しを開けながら手間をかけて選ぶことで、偶然の出会いと発見がある…。そんな発見を探しに足をお運びください。

TOUCH & FLOW



素材・機能・潔さ

大人のための オリジナル ステーショナリー

「タッチアンドフロー」では、ここでしか手に入れることができないオリジナルのステーショナリーも展開します。素材にこだわり、そぎ落としたデザインのノートやレターセット。傷が多くて扱いが難しいけれど、極上のしなやかな感触が楽しめる馬革のバッグ。職人が一つひとつ手彫りで作ったコマ。どれも、素材や機能にこだわり、シンプルで長くご愛用いただきたいという気持ちを込めて作りこみました。「ステーショナリーってこんなに楽しいものなんだ」という発見があり、モノに飽きた大人の方への贈り物としてもおすすめできる品々をご用意しています。



EX LIBRIS ~エクスリブリス(蔵書票)~ 320円+税



NOTEBOOK "SKETCH" ~スケッチノート~ 12,000円+税



NOTEBOOK "COLOR" ~カラーノート~ 280円+税



T&F ORIGINAL KOMA ~オリジナル木製コマ~ 600円+税

PAPER AND ENVELOPES "LOVE LETTER"
~レターセット~ 1,000円+税



HORSE LEATHER SERIES ~馬革バッグシリーズ~
12,000円+税

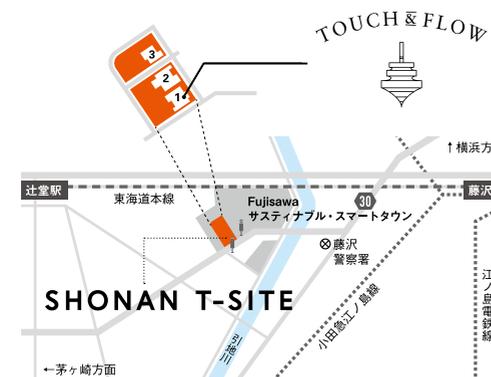
店長からのごあいさつ

TOUCH & FLOW 湘南 T-SITE 店の店長、藤本と申します。

「タッチアンドフロー」は、商品構成から販売手法まで、デザインフィルとして全く新しいチャレンジとなる店舗です。例えば、引き出し型の仕器をお客様が自由に開けて、宝探しのように商品を見つけていただいたり、真空パックを用いたギフトラッピング等も行っております。藤沢市とパナソニックが中心となって推進する「藤沢サステナブル・スマートタウン」構想により、店舗周辺のエリアは新たな文化的拠点としての注目が集まっています。地域の色と店舗とが互いに共鳴し合いながら、お客様の生活を少しでも豊かにするお手伝い、小さな「JOY」を届けられるよう、スタッフ一丸となって魅力的な店舗づくりに取り組んでまいります。また、お客様と直に接する中で得た気付きを元に、メーカーとしてよりよい製品づくりへと活かしてまいります。



タッチアンドフロー店長
藤本瑠依



SHOP DATA

TOUCH & FLOW (タッチアンドフロー)
〒251-0043 神奈川県藤沢市辻堂元町6丁目20番-1
湘南 T-SITE 1号館 1F
TEL 0466-53-7405 10:00-21:00 無休

※湘南 T-SITE について
本を軸に個性豊かなショップが繋がり、湘南のライフスタイルをより豊かにする文化複合施設。
<http://shonan.tsite.jp>

TRAVELER'S notebook

For all the travelers who
have a free spirit.



2014年11月、 トラベラーズ事業部が 発足しました。



「トラベラーズノート」は、「毎日を旅するように過ごすノート」をテーマに2006年3月に誕生しました。「トラベラーズノート」には、不思議な力があります。このノートを手にして自分らしくカスタマイズすると、そこに何かを書くために新しいことを始めたり、未知の世界へ旅に出たりするのです。作り手である私たち自身が、その不思議な力を感じながら日々を過ごしてきました。

そして、それは、ものづくりやデザインという仕事のやり方にも大きな変化をもたらしました。1冊のノートが、人々の心や生活に大きな影響を与えることができるかもしれない。そのことを知って、私たちの仕事に無限の可能性を感じることができたのです。さらに、このノートに共感してくれた方々との出会いが世界を大きく広げてくれました。その出会いを起点に、さまざまな業界の方々のコラボレーションが生まれ、大きな刺激とともに、新しい旅のきっかけを与えてくれました。

そして、「トラベラーズノート」の世界をもっと深く追求するためのフラッグシップショップとして、2011年「トラベラーズファクトリー」をオープン。さらに2014年7月には「トラベラーズファクトリーエアポート」を成田空港第1ターミナルにオープンしました。

この度、トラベラーズ事業部が発足したことにより、今まで以上にその世界を深め、日本国内に留まらず世界に知られていくブランドにすべく邁進していきます。

トラベラーズ事業部長 飯島淳彦

「トラベラーズノート」が生まれた頃から、私たちが想像するひとつのイメージがありました。それは、例えばどこかの異国の砂埃が舞うような路地裏にある小さなカフェ。旅の自由に疲れ不安が頭をもたげてきた旅人が、「トラベラーズノート」のページをめくりながら旅の記録をぼんやり眺めていると、席の向こう側に同じノートになにかを綴っている旅人を見つける。お互いに目が合うと、それぞれのノートに目を向け、どんなカスタマイズをしているのか？ 何が書き留められているのか？ と興味がわき、国籍も年齢も違う旅人同士に自然と新しいコミュニケーションが生まれる。そして次の旅へ向かう知恵や勇気を与え合う。まだ、そんなシーンを異国のカフェで見たことはありませんが、本当にそんなことが世界中のいろいろな場所で生まれたら素敵だなあ、と考えています。

中目黒の路地裏に佇む
トラベラーズノートの基地、
「トラベラーズファクトリー」。
成田空港に新たな拠点が誕生！

2011年に東京・中目黒の路地裏にオープンした「トラベラーズファクトリー」。「トラベラーズノートと仲間たち」の世界をもっと深く追求するための基地を作り、多くの人たちとの出会いの場を創造していきたい。そして、リアルな場を共有することによって、新しいコミュニケーションやモノを作り出していきたい。そんな想いを持ちながら作ったお店です。

オープンから3年、日本各地、海外からも多くの旅人たちが訪れ、さまざまな出会いが生まれています。そして、2014年7月8日、世界への旅の出発点、成田空港の第1ターミナルに初のランチがオープンしました。「トラベラーズファクトリー エアポート」は、旅の始まりの緊張や高揚感、無事に旅を終えた安堵感や疲労などさまざまな旅人たちの想いが交差し、たくさ

んのワクワクやドキドキに満ち溢れた魅力的な場所です。

旅をカスタマイズするための道具をテーマに、「トラベラーズノート」をはじめ、手にするだけで旅がもっと楽しくなるようなステーションリーやトラベル用品、旅のスーベニアなどを取り揃えました。また、空港ならではのオリジナルプロダクトやカスタマイズアイテムもご用意しています。

旅の前に立ち寄り、旅の相棒となる道具を手に入れ、さらにその道具を自分仕様にカスタマイズすることで、旅のスタイルも自分らしく変化し、旅がより楽しく深いものになる。そんな場にしていきたいと考えています。



LINE UP

トラベラーズファクトリー
成田空港アイテム

・AIRPORT EDITION

日本の象徴、富士山をモチーフにしたオリジナルロゴや、「HAVE A NICE TRIP」のメッセージをプリントしました。(成田空港限定)

「トラベラーズノート 茶 AIRPORT EDITION」4,000円+税

「パスポートサイズ 黒 AIRPORT EDITION」3,300円+税

・マスキングテープ

日本の風景やミニガイドをデザインしたマスキングテープ。

「NRT TRIP柄」15mm 400円+税

「NRT AIRPORT柄」「JAPAN GUIDE柄」24mm 各660円+税

・トラベルアイテム

機内アメニティグッズをイメージし、上質な素材を使い日本の縫製工場ですべて丁寧に作りました。ポーチは旅の小物入れに。

「ネックピロー」オレンジ/ブルー 各2,300円+税

「アイマスク」オレンジ/ブルー 各1,400円+税

「ストーンウォッシュキャンバスポーチ」茶/青 各1,400円~3,200円+税

・スーベニア

エアポートのオープンにあわせて作ったオリジナルスノードームです。「スノードーム JAPAN TRIP柄」1,800円+税



国籍を超えた素敵な旅人たちと出会いました。



トラベラーズノートと仲間たち in TAIWAN

2014年9月6日(土)~7日(日)
誠品書店 台中園道店、台北敦南店

台湾で初のユーザーイベントを開催。台中、台北の2カ所で、カスタマイズコーナーや缶バッジ作りなどを楽しんでいただきました。イベント限定のマスキングテープ、プラスペンは現地でも大人気でした。

トラベラーズファクトリー キャラバン開催!

金沢・奈良・徳島・広島

~旅するスパイラルリングノートバイキング~

2014年10月11日(土)~10月14日(火)

「トラベラーズファクトリー」がキャラバンとなって旅に出る企画を開催しました。金沢、奈良、徳島、広島の4都市それぞれの街で、自分だけのノートを作ることができるイベント、スパイラルリングノートバイキングを行いました。



TRAVELER'S FACTORY at TOKYO STATION

2014年11月4日(火)~11月16日(日)
ecute東京(東京駅構内)イベントスペース
「粋 ikisui」

東京駅の構内にある ecute 東京 イベントスペース「粋 ikisui」に、今年も「トラベラーズファクトリー」特設コーナーが登場。「トラベラーズノート」とあわせて、東京駅 100 周年を記念しデザインしたコットンバッグやステッカーなどを展開しました。

COLLABORATION

「トラベラーズファクトリー」では、各界のものづくりのプロたちをはじめ、パリのセレクトショップ、香港の渡し船、伝説の航空会社など、「トラベラーズノート」の世界を広げ、新しい旅を予感させてくれる人々と、さまざまなコラボレーションを行っています。他の世界で活躍する作り手と一緒に考え、何かを作ることは大きな刺激となり、ものづくりの可能性を広げてくれます。



BRANIFF コレクション

「さよなら退屈な飛行機」のキャッチフレーズのもと、アレキサンダー・ジラルド、エミリオ・ブッチなどの60年代~70年代のクリエイティブが集結した伝説のエアライン、ブランiff。その後のデザインやブランディングに大きな影響を与えたアーカイブをリ・デザインし、ノートやステッカーなどを製作。



TRAVELER'S STAR EDITION

香港の渡し船、スターフェリーの歴史的遺産をモチーフにノートなどをリリース。ノートには、その船旅をリアルに感じることができるよう、スターフェリーのルートマップや歴史を記載、さらに、実際にスターフェリーに乗ることができるクーポンを同封しました。

PAN AM コレクション

アメリカのかつてのナショナル・フラッグ・キャリア、PAN AM (パンナム) による広告や機体デザインは、まだ一般的でなかった飛行機の旅に対する夢に満ち溢れ、眺めているだけでワクワクさせてくれます。それらのデザインをもとに、旅を彩り、さらに日々の生活に旅を感じさせてくれるノートなどを作りました。



HONG KONG TRAMWAY

香港の路面電車、香港トラムの110周年記念イベントのひとつとして、「トラベラーズファクトリー」とのコラボレーションを企画。どこか懐かしく旅情を感じさせてくれる香港トラムの車体やロゴ、さらにヴィンテージのチケットやポストカードなどをモチーフにしてデザインしました。



トラベラーズブレンド (aalto coffee and the rooster)

徳島にあるコーヒーロースター、アアルトコーヒーの庄野氏が、「トラベラーズノート」をイメージしてブレンド、焙煎してくれたオリジナルコーヒー。中目黒店ではその豆の販売とあわせて、ドリップコーヒーを楽しむことができます。

SHOP DATA

トラベラーズファクトリー
〒153-0051 東京都目黒区上目黒 3-13-10 TEL 03-6412-7830 定休日 火曜日【OPEN 12:00 ~ 20:00】

トラベラーズファクトリー エアポート
〒282-0011 千葉県成田市成田国際空港第1旅客ターミナル 中央ビル 本館4階 TEL 0476-32-8378【OPEN 8:00 ~ 20:00】

STORY

はじめの一步は 史上初のカラー色紙から。 実は奥深い 色紙作りのヒミツ。

ご存知ですか？ デジタル全盛とはいえ、実は手書きでメッセージを贈るアナログ代表ともいえる「色紙」の人氣は衰えを見せていません。いまや当り前となつている、カラー色紙やダイカット色紙、シール付色紙などは、実は「ミドリ」が初めて開発・販売したもののなのです。今回は、製造部門色紙担当の鈴木繁幸に色紙作りの秘密に迫ります。



色紙市場初！ カラー色紙誕生

— 当時は色紙＝白が一般的でしたよね。カラー色紙の開発のきっかけはどんなことでしょうか？

さまざまな製品の開発にチャレンジする、というのが会社のスピリットでした。そこで、白くて四角い色紙の固定概念を打ち払い、「色が付いていた方がお祝いの気持ちを表せるのでは」「模様があったら嬉しいのでは」など、1980年代前半に市場初

のカラー色紙を開発。世に送り出しました。

最初に発売したのは、薄いピンクの地にハート模様をあしらった「ハート柄」や優しい水玉模様など6点ほど。キャラクタ



ター全盛時代に、あえて大人っぽいデザインを打ち出したのです。お客様の反応も上々でした。その後、主にウェディング向けにハートや花の形に抜いた「ダイカット



色紙」を発売するなど、ラインアップを広げていきました。

縁にこだわる ダイカット色紙

— ダイカット色紙を作る上で苦労などはありましたか？

四角い色紙の縁はリボン、ダイカットの縁はシルク印刷を行っています。ダイカット色紙

は、他の色紙と製造工程が異なり、「オフセット印刷→シルク印刷（縁）→合紙→型を抜く→断裁面に金色のインクを吹き付け」という流れで作るのですが、縁の部分がずれないように注意しています。

当初8mmだったのをその後3mmまで調整をしました。見た目はかっこよくなりましたが、細くなった分、抜くのがとても難しくなりました。他にも、天候によって紙が伸び縮みするので、抜き工程が一番気を使いますね。

色紙のいろは

色紙の構造

作り方（平版の場合）

- ① 奉書紙に印刷・加工を行う
- ② 裏面の紙（砂子入りの紙）との間に、ボール（タオルくず入り）を入れて、3層を貼り合わせる＝合紙
- ③ そのまま約1カ月乾燥させる
- ④ 断裁
- ⑤ 縁テープを巻いて完成



ボール紙
軽くふわふわに仕上がりに、インクを吸う利点から、「ミドリ」では木綿のタオルくず入りを使用している。

昔は裏面の砂子に書いていたが、それはおこがましいと思う人が裏（現在の表）に書くようになり、表と裏が逆になったと言われている。

当時のカタログから

シール付色紙使用のメリット

- 色紙を急いで完成させたい時
- 遠隔地にいる人にも書いてもらえます。
- 自分が書いたメッセージを回覧中に読まれません。

トレスを感じ、打開策はないか、ということだと思いついたようです。当時のカタログにも書いてありますが、まさに社員の悩みから生まれた製品でしたね。

文化を受け継ぎながら、 新たな挑戦を

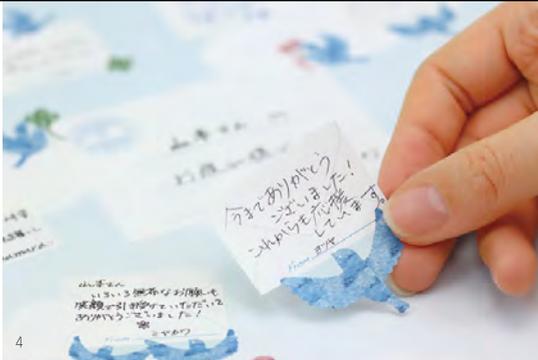
— 色紙開発において鈴木さんのこだわりは？

色紙はこうあるべき、という有り様、例えば、表面には和紙を、裏面には砂子を使うという材料や、寸法など本来あったものは変えてはいけなさと考えています。時にはイレギュラーなものがあったても良いのですが、

社員の「困った」から 生まれた「シール付色紙」

— シール付色紙は、ありそうではなかったアイデア商品。社員の声から生まれたとか？

2003年に製品のアイデアを出し合うといった部署対抗イベントから誕生したものです。確か、総務部の社員が、色紙を回覧してもちっとも集まらないし、全員のメッセージを贈れないこともしばしば。これにス



オジサン20周年

the 20th. anniversary of "Ojisan"



1994年、「ミドリ」の人気ダイアリーシリーズ「ポケットダイアリー」でデビューした「オジサン」。5コマ漫画のような世界の中で展開される、その独特な風貌と憎めない仕草が、ボディブローのようにじわじわと効いてきて、いつの間にか虜になってしまう、という不思議な魅力を持ったキャラクターです。そんな「オジサン」も、毎年ダイアリーの発売を心待ちにしてくださるファンの皆様に支えられ、2014年にデビュー20周年を迎えることができました。ファンの皆様への感謝と、もっと「オジサン」のファンを増やしたい、ということで、20周年を記念したさまざまなイベントを行いました。

20周年限定製品

- ファン待望「オジサンの本」
「オジサン」の秘密や1995年から2015年度版のダイアリーの中から240本のストーリーを集めました。クスッと笑ってしまう仕草や動きに癒されるとの声を多数いただいています。
- 「バースデーブック」
大切な人の誕生日や記念日を記録できるノート。発売前、社内男性陣からは「売れないのでは？」と懐疑の声が挙がりましたが、すぐに完売してしまう人気アイテムとなりました。

Ojisan in TOKYO & OSAKA

20年間のご愛顧に感謝し、東京と大阪にて期間限定の「オジサン」コーナーの展開と、作者によるイラストサイン会イベントを開催！各会場では、トートバッグやオルゴール、カップアンドソーサーなどのイベント限定品も用意しました。イベントには、大変多くのお客様が駆けつけてくださり、改めて「オジサン」の力を感じ、スタッフ一同身が引きしまる思いでした。



「オジサン」お誕生日会

「オジサンの本」をお買い上げいただいたお客様の中から抽選で30名様を招待し、デザインフィル本社で「オジサンお誕生日会」を開催しました。東京での開催にも関わらず、全国各地、海外から200名を超える皆様からのご応募が！応募ハガキには熱いメッセージが添えられていて、読むたび胸が熱くなる想いでした。当日は「オジサン」スペシャルケーキでお祝いし、作者やファン同士の交流をお楽しみいただき、大いに盛り上がりました。

Special Thanks

オジサン20周年にあたり、お取引先の皆様にはご協力を賜りありがとうございました。皆様の「オジサン愛」をしっかりと受けとめ、さらに魅力的な製品を開発してまいります。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。目指せ30周年！



神田オフィス移転

2014年5月7日(水)、経理、受注センターおよびグループ会社のエムディーエスのオフィスが錦糸町から神田に移転いたしました。移転初日は、新オフィスで開所式を執り行い、新たな場所で業務をスタートしました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

デザインフィル 神田オフィス

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2丁目6番地6
ニッセイ神田須田町ビル7F



開所式の様子

デザインフィル役員人事のお知らせ

2014年9月26日(金)、株式会社デザインフィルの定時株主総会を恵比寿本社にて開催しました。65期役員は下記の通り、承認可決されましたことをご報告いたします。

役員一覧(2014年9月26日現在)

役員代表取締役社長	会田一郎
専務取締役	豊田栄一
取締役	里見善康
取締役	太谷博司
監査役(非常勤)	下川良彦(株式会社キャム 代表取締役)

編集後記

今号より誌面を刷新しました。

これまでより判型を大きくし、また、弊社の活動についてより深くご理解いただけるよう、開発の裏側やエピソードなど「人の顔が見える」誌面作りを行っていきます。何度も読み返したくなるような冊子を目指し、皆様にお届けしてまいります。ご意見、ご要望がございましたらマーケティンググループまでお気軽にどうぞ。(編集長 M.N)